

**第1 国民に対し提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため
とるべき措置**

1 農業者年金事業

申出書等の標準処理期間内の処理状況調査の結果について

令和３年９月

標準処理期間を定めた申出書等の処理状況の調査結果について、下記のとおり公表します。

記

申出書等の種類	標準処理 期 間	処理件数 (８月分)	標準処理 期 間 内 処理件数	標準処 理 期 間 内 処理率(%)
加入申込書等	30 日	200	200	100.00
年金裁定請求書等	60 日・75 日	2,336	2,321	99.36
合 計	—	2,536	2,521	99.41

注１ 独立行政法人農業者年金基金が令和３年８月中に処理を行った申出書等について、処理状況の調査を行った。

２ 記載内容の不備、添付書類もれ等により、受託機関を通じて申請者等に返戻した後、再度受付処理したものは除いている。

３ 独立行政法人農業者年金基金中期計画において、加入申込書等についてはその 97%以上を、また年金裁定請求書等についてはその 98%以上を標準処理期間内において、処理することとしている。

申出書等の標準処理期間内の処理状況調査の結果について

令和４年３月

標準処理期間を定めた申出書等の処理状況の調査結果について、下記のとおり公表します。

記

申出書等の種類	標準処理 期 間	処理件数 (２月分)	標準処理 期 間 内 処理件数	標準処 理 期 間 内 処理率(%)
加入申込書等	30 日	500	500	100.00
年金裁定請求書等	60 日・75 日	2,802	2,790	99.57
合 計	—	3,302	3,290	99.64

注１ 独立行政法人農業者年金基金が令和４年２月中に処理を行った申出書等について、処理状況の調査を行った。

２ 記載内容の不備、添付書類もれ等により、受託機関を通じて申請者等に返戻した後、再度受付処理したものは除いている。

３ 独立行政法人農業者年金基金中期計画において、加入申込書等についてはその 97%以上を、また年金裁定請求書等についてはその 98%以上を標準処理期間内において、処理することとしている。

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

年金給付等準備金運用の基本方針（要約）

変更適用：令和4年4月1日

□ 運用の目的

資産の安全かつ効率的な管理・運用を行い、将来にわたり、年金・死亡一時金の給付を安定的に行うため、想定したリスクのもとで、可能な限りの総合収益を長期的に確保する。

□ 資産構成と運用目標

- ・資産の性格に応じて下記ポートフォリオ（注1）に区分し、分別管理を行う。

（注1）複数の資産により構成された資産全体のこと。

ポートフォリオ毎に政策アセットミクス（注2）を策定し、それぞれ運用目標を規定。

（注2）中長期的に維持すべき資産構成割合のこと。

（1）被保険者ポートフォリオ

①政策アセットミクス

	国内債券	国内株式	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国株式
政策アセットミクス	56%	12%	20%	12%
乖離許容幅	±10%	±4%	±2%	±4%

キャッシュフロー等への対応に見込まれる額については、短期資産で保有するものとする。

②ベンチマーク

国内債券：NOMURA ボンド・パフォーマンス・インデックス（総合）

国内株式：TOPIX（配当込み。東京証券取引所発表のもの。）

外国債券：FTSE 世界国債インデックス（日本を除く。円換算。為替ヘッジあり。）

外国株式：MSCI - KOKUSAI（源泉税控除前配当再投資。円換算。）

③目標

複合ベンチマーク（注3）に相当する収益率を確保すること。

（注3）投資対象資産毎に運用成績の良否を判定するため、ポートフォリオの収益率との相対比較の基準となる市場平均指標（ベンチマーク）を定めている。複合ベンチマークとは、政策アセットミクスを維持し、各資産がベンチマーク並の収益率を上げたとして得られる資産全体の収益率のことをさす。

④その他

政策アセットミクスについては、定期的に検証し、必要に応じて見直しを行う。

(2) 受給権者ポートフォリオ

①政策アセットミクス

	国内債券
政策アセットミクス	100%

年金・一時金の支払待機資金及び調整準備金への繰入が見込まれる額については、短期資産で保有するものとする。

②ベンチマーク

国内債券：債務の評価額から、年金・一時金の支払待機資金として保有する短期資産等を控除した額

③目標

資産の評価額の変動を、債務の評価額の変動に一致させることを基本とする。

(3) 被保険者危険準備金^(注4) ポートフォリオ及び受給権者危険準備金^(注4) ポートフォリオ

(注4)被保険者・待期者に対する付利額の安定的増加を図るため、又は受給権者への年金支給を安定的に行うため、運用益の一部を留保し積立てた準備金

①政策アセットミクス

	短期資産
政策アセットミクス	100%

②ベンチマーク

短期資産：譲渡性預金平均金利（新規発行分）／30 日未満（月平均）

③目標

流動性及び元本の確保を重視した運用を行う。

□ 資産の管理・運用組織

- ・運用担当部門と運用監視担当部門を独立して設置
- ・資金運用委員会の設置（資産の運用・管理に関する重要事項を検討）

□ 自家運用・外部運用の選択

各ポートフォリオの政策アセットミクスに基づき、投資対象資産の区分毎に自家運用・外部運用の選択を行う。ただし、自家運用の対象資産は、短期資産及び国内債券に限定。

□ 受託機関の選任

- ・外部運用を行う場合は、所定の審査により最も適切な運用受託機関及び資産管理受託機関の選任を行う。

□ 運用業務等に関し遵守すべき事項

- ・法令の遵守
- ・被保険者及び受給権者等に対する基金の受託者責任（善管注意義務、忠実義務）
- ・基金に対する受託機関の受託者責任（善管注意義務、忠実義務）
- ・運用ガイドライン（注5）等の遵守
- （注5）運用受託機関に対して資産構成割合、運用手法、運用目標等を指示する書面
- ・運用受託機関が運用上遵守すべき事項

（全般的な事項）

基金資産の単独運用、有価証券取引における総執行コストの軽減等

（各投資対象資産）

運用スタイルに応じた銘柄選定の基準、適切な分散化、株式における信用取引の禁止等

- ・資産管理受託機関が遵守すべき事項

基金の資産の分別管理等

- ・自家運用において遵守すべき事項

満期保有目的債券にかかる会計基準の遵守等

□ 資産の管理・運用状況に関する報告

- ・自家運用に係る理事長への報告（四半期毎）
- ・運用受託機関からの基金への報告及びミーティング（四半期毎）
- ・資産管理受託機関からの基金への報告（月次）
- ・全体の資産に係る理事長への報告（四半期毎）

□ 運用業務等の評価

- ・ 自家運用については、被保険者ポートフォリオについてベンチマークとの比較評価及び運用受託機関との比較評価を行う。
- ・ 運用受託機関については、パフォーマンスの定量評価に加え、人材・運用プロセス等の定性評価を加えた総合評価を定期的に行う。
- ・ 資産管理受託機関については、事務管理能力等の定性評価を定期的に行う。
- ・ 全体の資産についてベンチマーク又は複合ベンチマークとの比較評価を行う。

□ 委託契約の変更・解除

- ・ 運用業務の評価等に基づき、運用委託額の変更又は委託契約の解除を行うことがある。
- ・ 市場価格の大幅な変動により基金全体の資産構成が政策アセットミクスから著しく乖離し、その修正を行う必要がある場合等においては、政策的に運用委託額の変更等を行うことがある。

令和 2 年 11 月 実 施
資金運用に関するアンケート調査結果

令和 3 年 3 月
独立行政法人 農業者年金基金

目 次

1	資金運用に関するアンケート調査結果の概要	1
2	調査結果	3
3	調査結果（主要なクロス集計）	8
4	回答者からのご意見	14

1. 資金運用に関するアンケート調査結果の概要

(1) 調査の趣旨

農業者年金基金の新制度は、基金が資金の運用を一元的に行い、保険料等とその運用収入を年金原資として、生涯にわたり年金の給付を行う制度として設計され、平成14年1月にスタートしてから令和3年1月で19年が経過しました。

基金では、資金運用にあたり、長期的な視点に立って、各投資対象資産のリターンとリスクの特性を踏まえた最適な資産構成割合（政策アセットミクス）を定め、その構成割合を維持するよう分散投資を行っており、これにより長期的に安定的な収益を確保することに努めています。

また、この政策アセットミクスについては、実体経済の情勢変化等の諸条件の変化に照らした妥当性の検証を毎年度行っており、必要に応じて見直しを行うこととしています。

農業者年金は、加入者が積み立てた保険料等とその運用収入に応じて年金額が事後に決まる「確定拠出型」の年金制度であり、加入者の年金額は運用成績により変動します。このため、基金の資金運用にあたっては、加入者の意向を尊重して行うことが重要と考えております。

こうした中、昨年来の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、運用環境の不透明感がますます強まる一方、当面、金利は極めて低い水準で推移することが見込まれる等、前回の資金運用に関する加入者アンケート（平成28年11月実施）時から金融情勢が大きく変化していることを踏まえ、資金運用に対するご意見、ご意向を把握することを目的として、アンケート調査を実施することとしました。

(2) 調査内容

調査は、前回調査に準じた方式で行っております。加入者のうち被保険者及び待期者の方の中から、無作為に抽出した1万名にアンケート調査票（及び参考資料）を郵送の上、下記5項目に関する設問に対して選択肢の中から一つを選び、同封のハガキにより回答していただく方式により実施しました。（令和2年11月2日に調査票送付、回答期限を11月末日として実施。）

なお、今回の調査では、新たに同封のハガキに自由にご意見・ご感想をご記入いただける欄を設けました。

- 問1 これまでの資金運用結果に対する満足度について
- 問2 リスクを増やすことに対する許容度について
- 問3 今後の平均利回りに対する期待度について
- 問4 各質問内容や図表の理解度について
- 問5 参考資料の理解度について

(3) 調査結果概要

調査票を送付した1万名のうち、1,871名の方にご回答をいただくことができました。（回収率18.7%（前回調査20.1%））

調査結果の概要は以下の通りです。

- ① これまでの資金運用結果に対する満足度については、「大変満足している」及び「概ね満足している」をあわせると 59.8%、「やや不満である」及び「非常に不満である」をあわせると 39.7%という結果となりました。（前回調査では「大変満足している」及び「概ね満足している」をあわせると 76.7%でした。）
- ② リスクを増やすことについては、「たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない」が 48.1%、「現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすべき」が 20.7%、「現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすべき」が 2.6%という結果でした。また、「運用利回りとリスクをどのようにするかは基金にお任せする」が 28.1%となりました。
- ③ 今後期待する平均利回りについては、「1.5%（直近5年の平均利回り並み）」が 15.8%、「2.0%」が 22.9%、「2.5%（制度発足来の平均利回り並み）」が 30.8%、「3.0%以上」が 8.1%という結果でした。また、「基金にお任せする」が 21.5%となりました。
- ④ 各質問内容や図表については、「とても分かりやすかった」及び「まあまあ分かりやすかった」をあわせると 80.3%という結果となりました。
- ⑤ 参考資料については、「とても分かりやすかった」及び「まあまあ分かりやすかった」をあわせると 77.2%という結果となりました。

（４）調査結果を受けて

以上の結果から、これまでの運用結果については、約６割の加入者の方々に概ね満足をいただいていることが分かりました。リスクを増やすことについては、「たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない」とする回答が５割近くを占めました。また、「現在の運用利回りでは少し（全然）足りないので、もう少し（もっと）リスクを増やすべき」とする回答が２割強ありました。今後期待する平均利回りについては、「1.5%（直近5年の平均利回り並み）」が２割弱、「2.0%」が２割強、「2.5%（制度発足来の平均利回り並み）」が３割強、「3.0%以上」が１割弱ありました。また、自由記入欄について151名の方からいただいたのべ167件のご意見等も含め、これらの調査結果については、今後の資金運用業務や政策アセットミクス検証の際の参考とさせていただきます。

基金では、農業者年金が確定拠出型の制度であることから、透明性を高めるために加入者に付利通知を毎年度送付するとともに、基金のホームページにおいて、四半期毎の運用状況を掲載するなど、資金運用に関する情報提供を行っております。今後も引き続き、加入者の方々に、付利通知などの機会を通じて情報提供を行い、農業者年金の資金運用について理解を求めていく取組みを進め、信頼される運用に努めて参ります。

2 調査結果

問1 農業者年金基金のこれまでの運用状況は【図表1】のとおりです。また、新制度発足以降18年間の運用利回りの平均は2.55%、直近5年間の運用利回りの平均は1.36%です。このような運用結果について、どのようにお考えですか？

(ご自身の加入時期(加入期間)にかかわらず、ご自身が期待する運用利回りとの比較でお答えください。)

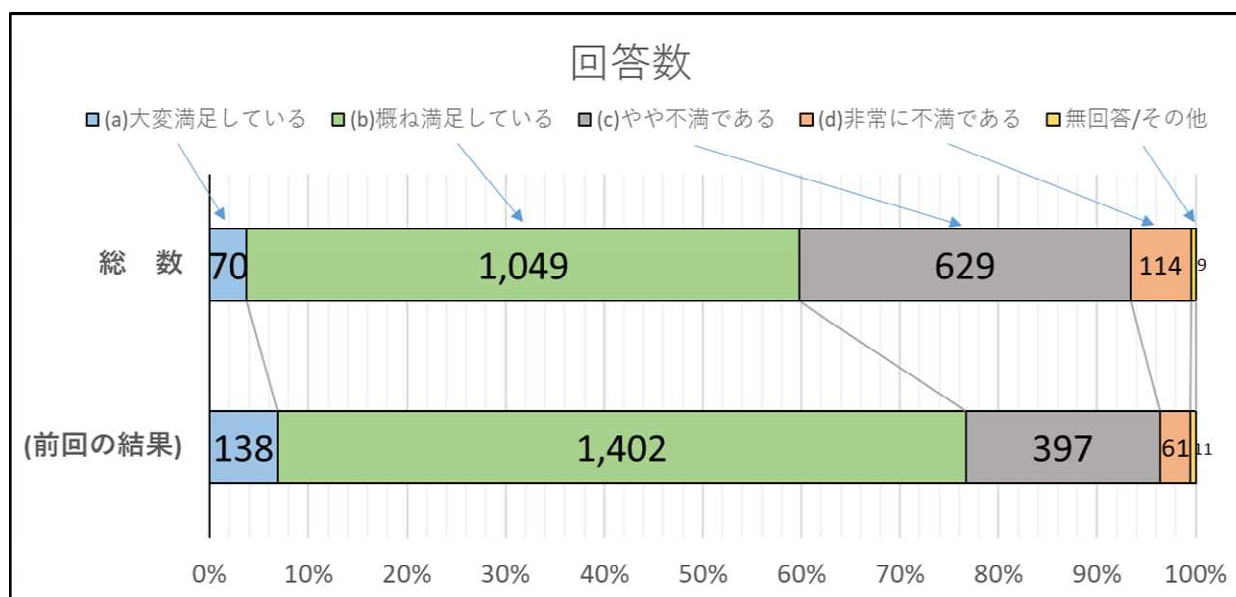
a. 大変満足している b. 概ね満足している c. やや不満である d. 非常に不満である

(※) 設問中の【図表】については、別途、基金HP (<https://www.nounen.go.jp/nounen/shisan/data/r02/questionnaire.pdf>)に掲載しております。以下同様となります。

これまでの資金運用結果に対する満足度については、「大変満足している」及び「概ね満足している」をあわせると59.8%（前回76.7%）となり、「やや不満である」及び「非常に不満である」をあわせると39.7%（前回22.8%）となりました。

(単位：人、%)

	a		b		c		d		無回答/その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数	70	3.7	1,049	56.1	629	33.6	114	6.1	9	0.5	1,871	100.0
(前回の結果)	(138)	(6.9)	(1,402)	(69.8)	(397)	(19.8)	(61)	(3)	(11)	(0.5)	(2,009)	100.0



問2 農業者年金制度は、運用利回り（リターン）とリスクの異なる複数の資産を組み合わせ、運用しています。安定的に運用することを基本に、運用利回りを上げるためには、【図表2】のように、リスクの高い資産の保有割合を増やすことになります。現在の運用利回りとリスクについて、どのようにお考えですか？

（現在の運用利回りについては、直近5年間の平均運用利回りである1.36%を基準としてお答えください。）

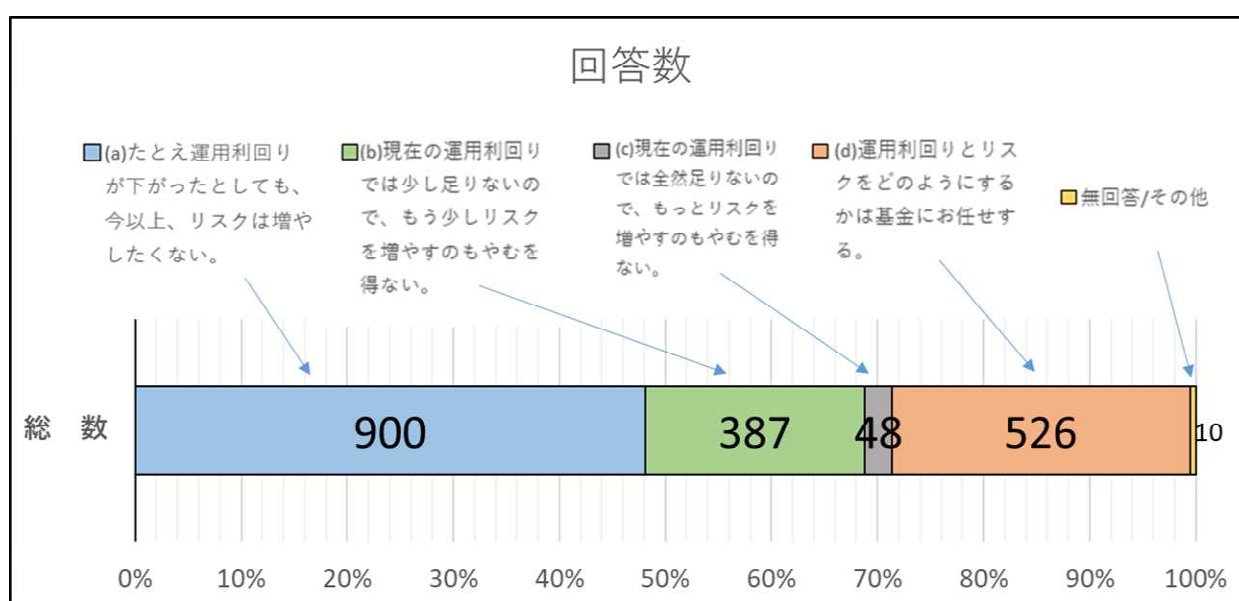
- a. たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない。
- b. 現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない。
- c. 現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない。
- d. 運用利回りとリスクをどのようにするかは基金にお任せする。

（※）新規の設問のため、前回調査のデータはございません。

リスクを増やすことについては、直近5年間の平均運用利回りである1.36%を基準として回答いただきましたが、「たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない」とする回答が48.1%、「現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない」とする回答が20.7%、「現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない」とする回答が2.6%という結果となりました。また、「運用利回りとリスクをどのようにするかは基金にお任せする」とする回答は28.1%となりました。

（単位：人、％）

	a		b		c		d		無回答/その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数	900	48.1	387	20.7	48	2.6	526	28.1	10	0.5	1,871	100.0



問3 今後の長期的な運用利回りについて、どの程度の平均利回りを期待されますか？

(なお、農業者年金基金には、65歳の年金裁定の時に、元本まで補填する仕組みがあります。これは、年金裁定時に付利累計額がマイナスとなっている方については、このマイナスがゼロになるまで可能な限り補填する仕組みです。)

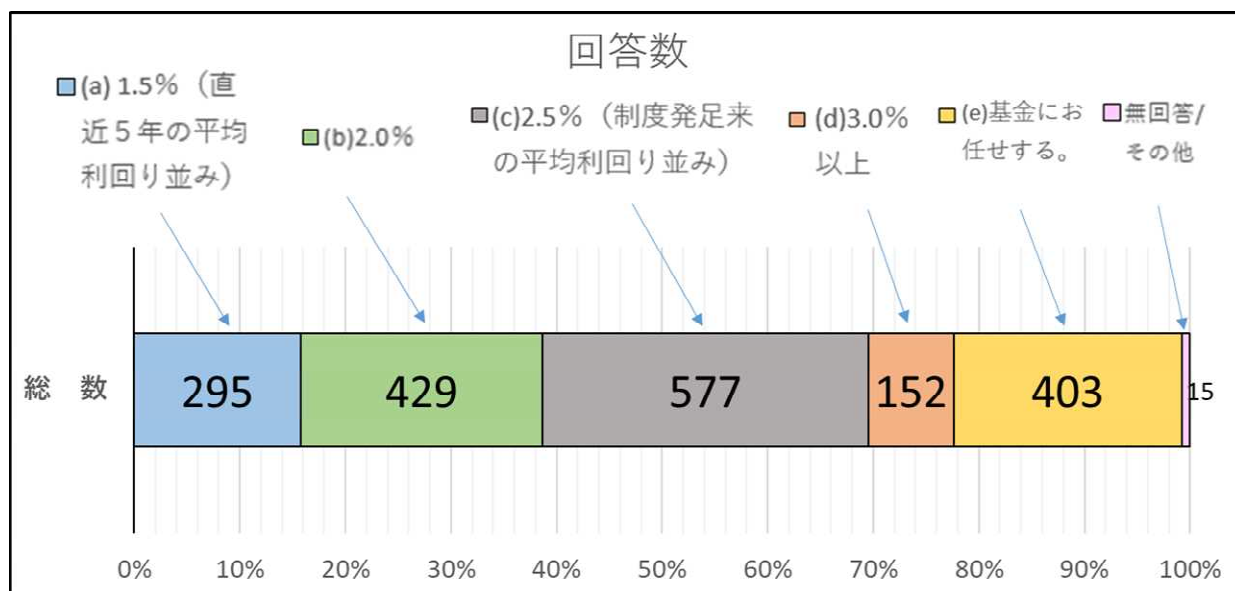
- a. 1.5% (直近5年の平均利回り並み)
- b. 2.0%
- c. 2.5% (制度発足来の平均利回り並み)
- d. 3.0%以上
- e. 基金にお任せする。

(※) 新規の設問のため、前回調査のデータはございません。

今後期待する平均利回りについては、「1.5% (直近5年の平均利回り並み)」とする回答が15.8%、「2.0%」とする回答が22.9%、「2.5% (制度発足来の平均利回り並み)」とする回答が30.8%、「3.0%以上」とする回答が8.1%という結果でした。また、「基金にお任せする」とする回答は21.5%という結果でした。

(単位：人、%)

	a		b		c		d		e		無回答/その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数	295	15.8	429	22.9	577	30.8	152	8.1	403	21.5	15	0.8	1,871	100.0



問4 問1～問3の質問内容や図表について、以下のうち最も近いものを選んでください。

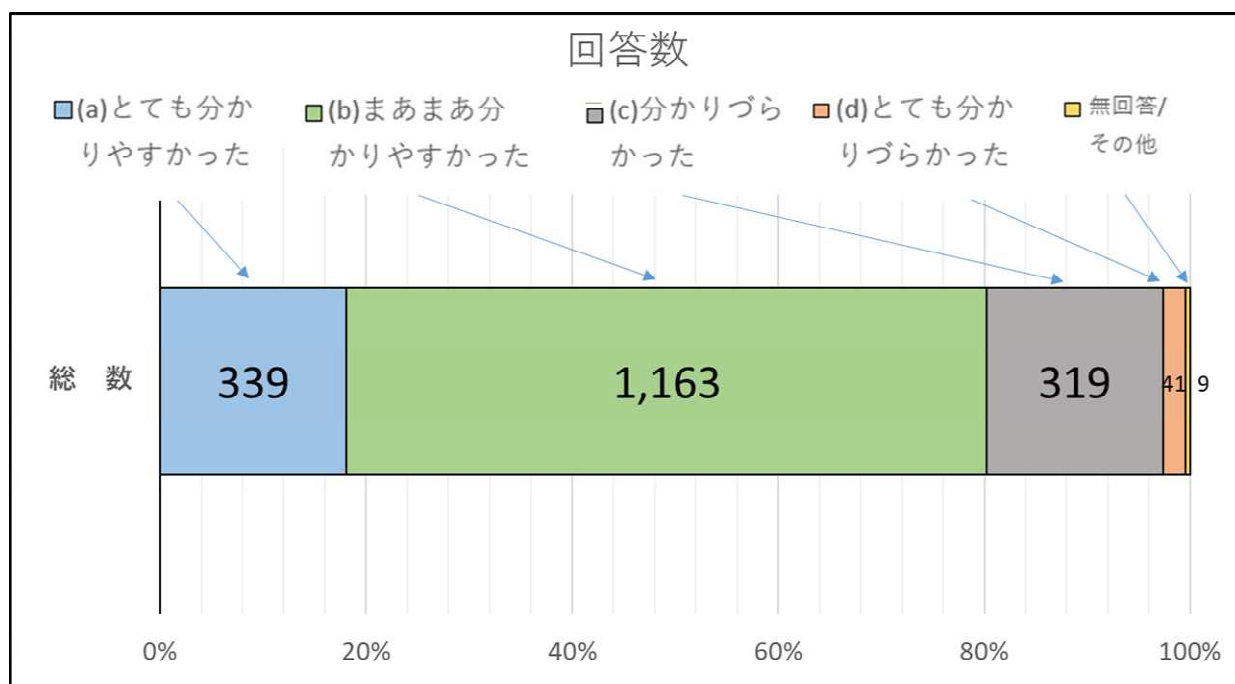
- a. とても分かりやすかった
- b. まあまあ分かりやすかった
- c. 分かりづらかった
- d. とても分かりづらかった

(※) 新規の設問のため、前回調査のデータはございません。

各質問内容や図表の内容については、「とても分かりやすかった」及び「まあまあ分かりやすかった」をあわせると 80.3%となっており、概ね分かりやすかったと回答をいただくことができました。

(単位：人、%)

	a		b		c		d		無回答/その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数	339	18.1	1,163	62.2	319	17.0	41	2.2	9	0.5	1,871	100.0



問5 参考資料の内容について、以下のうち最も近いものを選んでください。

- a. とても分かりやすかった
- b. まあまあ分かりやすかった
- c. 分かりづらかった
- d. とても分かりづらかった
- e. 参考資料は見えていない

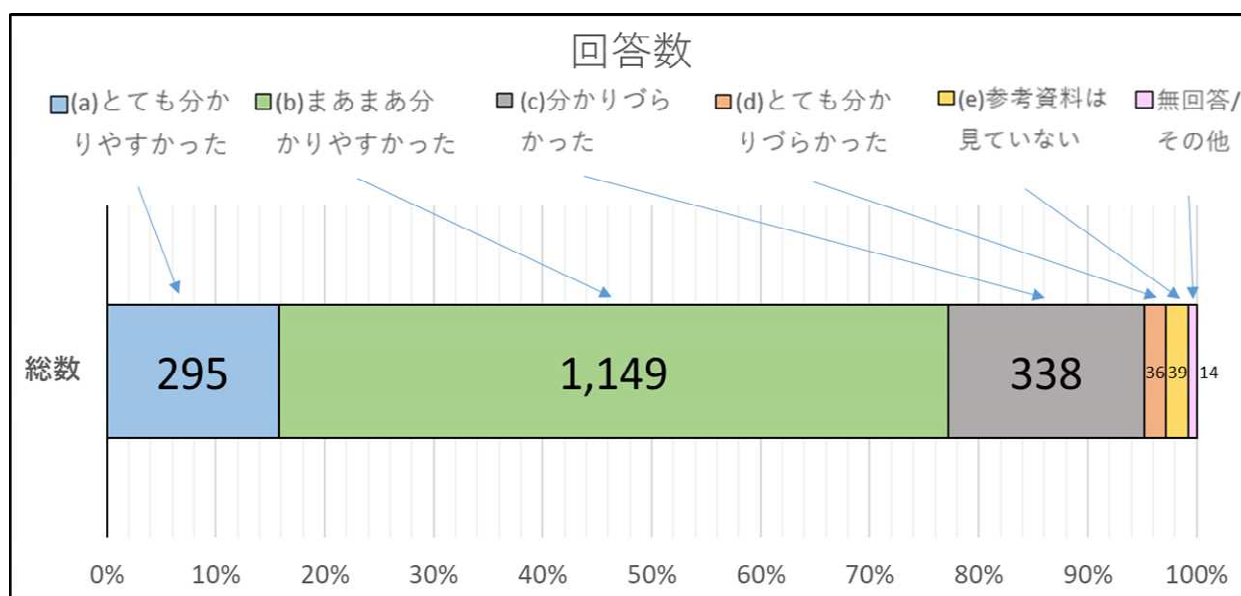
(※) 前回、同様の趣旨の設問がありましたが、今回と選択肢が異なるため、比較していません。

参考資料の内容については、「とても分かりやすかった」及び「まあまあ分かりやすかった」をあわせると 77.2%となっており、概ね分かりやすかったと回答をいただくことができました。

また、「参考資料は見えていない」という回答は 2.1%にとどまっており、大多数の方に参考資料をご覧いただいたことが分かりました。

(単位：人、%)

	a		b		c		d		e		無回答/その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総 数	295	15.8	1,149	61.4	338	18.1	36	1.9	39	2.1	14	0.7	1,871	100.0



3 調査結果（主要なクロス集計）

問1×問2

『これまでの資金運用結果に対する満足度について』に関する設問（問1）の各選択肢に回答された方が、『現在の運用利回りとリスクについて』に関する設問（問2）について、どのように回答されたか。

これまでの資金運用結果に対して、「大変満足している」及び「概ね満足している」と回答した方は、「たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない」と回答した割合が高かったことから、資金運用結果に比較的満足している方は、リスクは増やしたくないと考える傾向が伺えました。

また、これまでの資金運用結果に対して、「やや不満である」及び「非常に不満である」と回答した方は、資産運用結果に比較的満足している方に比べて、リスクを増やすのもやむを得ないと考える比率が高くなる傾向が伺えました。

（単位：人）

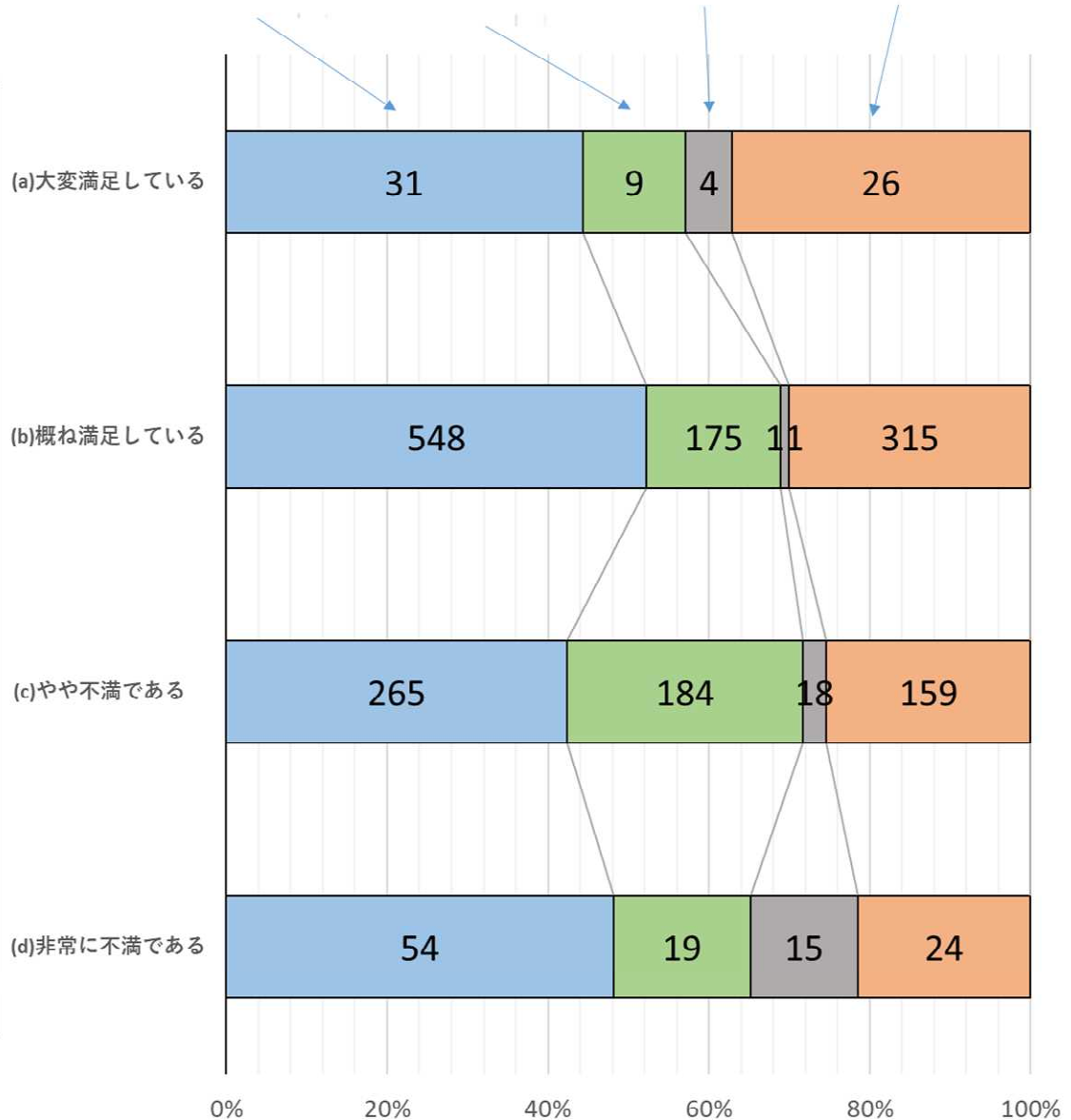
		問2 『現在の運用利回りとリスク』									
問1 『これまでの資金 運用結果に対する 満足度』		(a)たとえ運用利回り が下がったとして も、今以上、リスク は増やしたくない。		(b)現在の運用利回り では少し足りないの で、もう少しリスク を増やすのもやむを 得ない。		(c)現在の運用利回り では全然足りないの で、もっとリスクを 増やすのもやむを得 ない。		(d)運用利回りとリス クをどのようにする かは基金にお任せす る。		合計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	(a)大変満足している	31	44.3%	9	12.9%	4	5.7%	26	37.1%	70	100.0%
	(b)概ね満足している	548	52.2%	175	16.7%	11	1.0%	315	30.0%	1,049	100.0%
	(c)やや不満である	265	42.3%	184	29.4%	18	2.9%	159	25.4%	626	100.0%
	(d)非常に不満である	54	48.2%	19	17.0%	15	13.4%	24	21.4%	112	100.0%
	合計	898	48.4%	387	20.8%	48	2.6%	524	28.2%	1,857	100.0%

※無回答及び複数回答はカウントしていないため、合計は1,871になりません。

問2『現在の運用利回りとリスク』

- (a)たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない。
■ (b)現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない。
■ (c)現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない。
■ (d)運用利回りとリスクをどのようにするかは基金に任せする。

問1『これまでの資金運用結果に対する満足度』



問1×問3

『これまでの資金運用結果に対する満足度について』に関する設問（問1）の各選択肢に回答された方が、『今後期待する平均利回りについて』に関する設問（問3）について、どのように回答されたか。

これまでの資金運用結果に対して、「大変満足している」及び「概ね満足している」と回答した方は、今後期待する平均利回りについては、「1.5%（直近5年の平均利回り並み）」から「2.5%（制度発足来の平均利回り並み）」の間で（青の網掛けの部分）、回答にばらつきが見られる結果となりました。

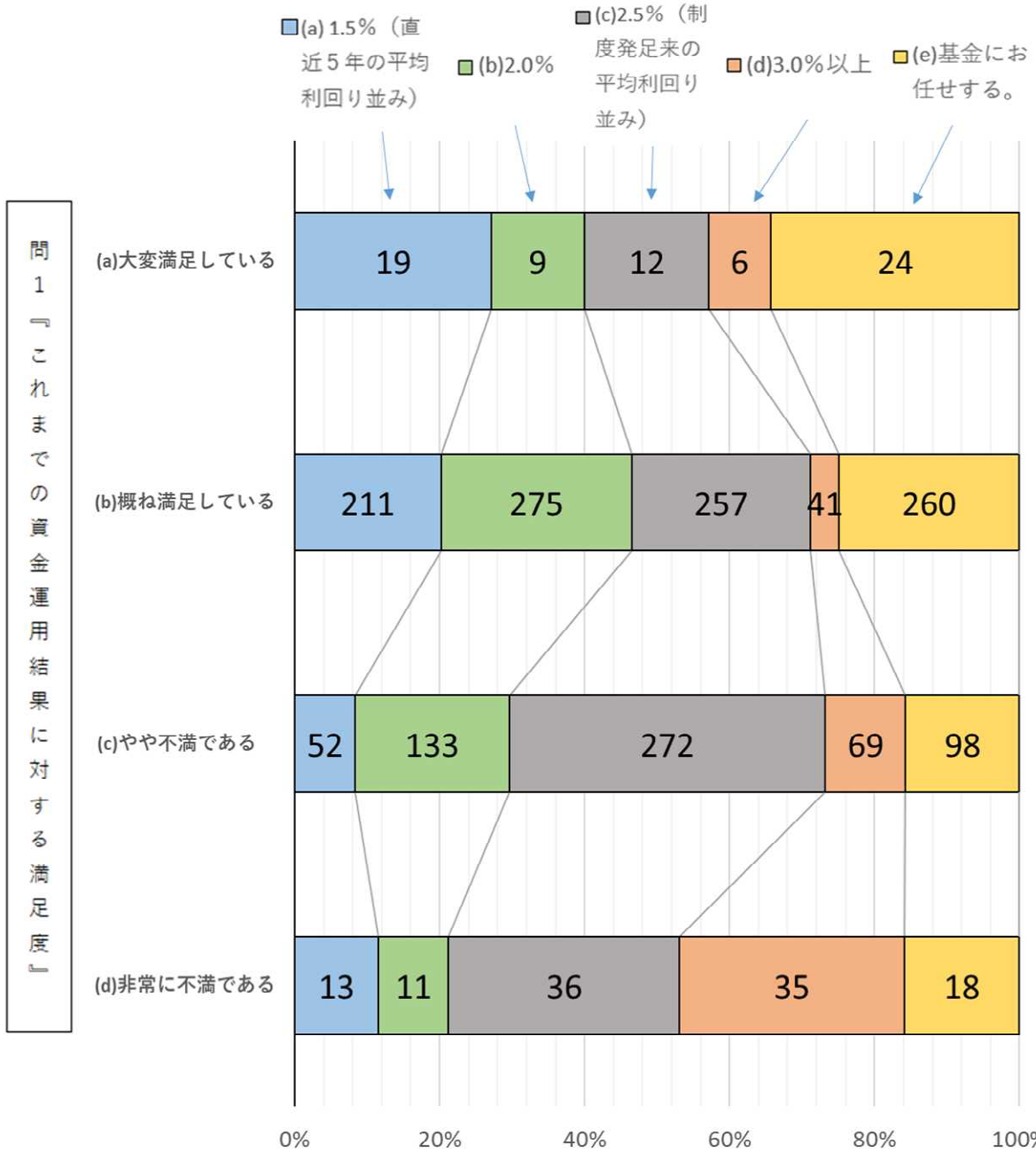
また、これまでの資金運用結果に対して、「やや不満である」及び「非常に不満である」と回答した方は、「2.5%（新制度発足来の平均利回り並み）」や「3.0%以上」といった回答の比率が高くなる傾向も伺えました。

（単位：人）

		問 3 『今後期待する平均利回り』										合計	
問 1 『これまでの資金 運用結果に対する 満足度』		(a) 1.5% (直近 5 年の平均 利回り並み)		(b) 2.0%		(c) 2.5% (制度発足来の平 均利回り並み)		(d) 3.0%以上		(e)基金にお任せす る。			
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	(a)大変満足 している	19	27.1%	9	12.9%	12	17.1%	6	8.6%	24	34.3%	70	100.0%
	(b)概ね満足 している	211	20.2%	275	26.3%	257	24.6%	41	3.9%	260	24.9%	1,044	100.0%
	(c)やや不満 である	52	8.3%	133	21.3%	272	43.6%	69	11.1%	98	15.7%	624	100.0%
	(d)非常に不 満である	13	11.5%	11	9.7%	36	31.9%	35	31.0%	18	15.9%	113	100.0%
合計		295	15.9%	428	23.1%	577	31.2%	151	8.2%	400	21.6%	1,851	100.0%

※無回答及び複数回答はカウントしていないため、合計は1,871になりません。

問3 『今後期待する平均利回り』



問2×問3

『現在の運用利回りとリスクについて』に関する設問（問2）の各選択肢に回答された方が、『今後期待する平均利回りについて』に関する設問（問3）について、どのように回答されたか。

現在の運用利回りとリスクについて、「たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない」と回答された方については、今後期待する平均利回りについては、「1.5%（直近5年の平均利回り並み）」から「2.5%（制度発足来の平均利回り並み）」の間で、回答結果にばらつきがみられました。

また、現在の運用利回りとリスクについて、「現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない」と回答された方については、「2.5%（新制度発足来の平均利回り並み）」と回答された割合が一番高い結果となりました。

さらに、現在の運用利回りとリスクについて、「現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない」と回答された方については、「3.0%」と回答された割合が一番高い結果となりました。

（単位：人）

		問 3 『今後期待する平均利回り』										合計	
		(a) 1.5% (直近 5 年の平 均利回り並み)		(b)2.0%		(c)2.5% (制度発足来の 平均利回り並 み)		(d)3.0%以上		(e)基金にお任せ する。			
問 2 『現在の運用 利回りとリス ク』		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
	(a)たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない。	227	25.4%	216	24.1%	253	28.3%	46	5.1%	153	17.1%	895	100.0%
	(b)現在の運用利回りでは少し足りないの で、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない。	30	7.8%	117	30.4%	159	41.3%	48	12.5%	31	8.1%	385	100.0%
	(c)現在の運用利回りでは全然足りないの で、もっとリスクを増やすのもやむを得ない。	3	6.3%	5	10.4%	14	29.2%	22	45.8%	4	8.3%	48	100.0%
	(d)運用利回りとリスクをどのようにする かは基金にお任せする。	34	6.5%	91	17.4%	150	28.7%	32	6.1%	215	41.2%	522	100.0%
	合計	294	15.9%	429	23.2%	576	31.1%	148	8.0%	403	21.8%	1,850	100.0%

※無回答及び複数回答はカウントしていないため、合計は1,871になりません。

問3『今後期待する平均利回り』

- (a) 1.5% (直近5年の平均利回り並み)
 ■ (b) 2.0%
 ■ (c) 2.5% (制度発足からの平均利回り並み)
 ■ (d) 3.0%以上
 ■ (e) 基金に任せする。

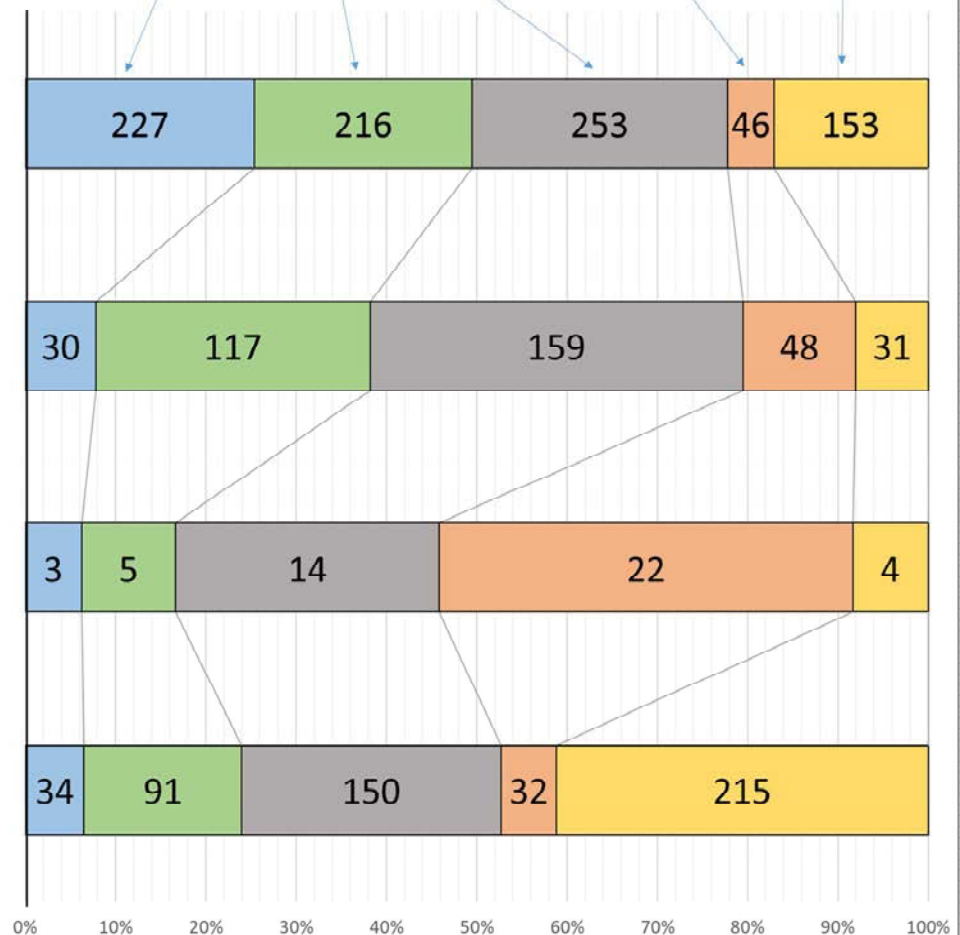
問2『現在の運用利回りとリスク』

(a)たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない。

(b)現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない。

(c)現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない。

(d)運用利回りとリスクをどのようにするかは基金に任せする。



5 回答者からのご意見

回答いただいた1,871名のうち、151名の方からのべ167件のご意見等をいただきました。

これらのご意見等については、今後の資金運用業務をはじめ、基金全般の業務運営の参考とさせていただきます。

○ご意見欄の集計結果

(単位：件)

	①運用	②アンケート	③制度	④その他	計
総数	59	31	48	29	167
満足・不満足	4	6	6	6	22
具体的な意見	39	23	31	8	101
その他	16	2	11	15	44

※1名分のご意見欄の中に複数のカテゴリーに該当するご意見が入っている場合には、各カテゴリーにカウントしました。

【カテゴリー】

- ①運用…農業者年金の運用に対する意見
- ②アンケート…アンケート実施や内容に対する意見
- ③制度…農業者年金制度に対する意見
- ④その他…①②③に該当しない要望や基金へのメッセージ等